

調査の経緯

2021 (令和3) 年度	<ul style="list-style-type: none"> 本市の「ため池放射性物質対策事業(ため池除染)」は、2021年度末に、市内ため池649か所のうち対象67か所の対策を終え事業完了となった。 県内の放射性物質対策を終えた農業用ため池において、令和元年東日本台風などの豪雨による影響により、再び基準値を超える放射性物質が確認される事例が発生した。
2022 (令和4) 年度	<ul style="list-style-type: none"> この事例を受け、台風以前の調査結果が基準値内であった池や、台風以前にため池除染を終えた池など、合計506か所のため池の再調査を実施した。 再調査の結果、5か所で基準値を超える放射性物質を確認し、詳細調査により対策の必要性を検討することとした。

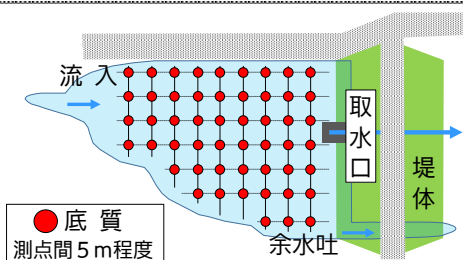
詳細調査(2023年度)の結果

【放射性セシウム濃度(基準値:8,000Bq/kg-Dry以下)】

ため池名	場 所	調査面積	基準値 超過面積	最大値 (Bq/kg-Dry)	対策の 必要性
① 大田2支線17-3-4号	西田町 鬼生田	1,246㎡	229㎡ (18%)	【基準値】 8,000	あり
② 大田2支線17-3-9号		939㎡	735㎡ (78%)		
③ 高野支線16-2号	西田町 丹伊田	513㎡	28㎡ (5%)		
④ 高野支線16-15号		908㎡	312㎡ (34%)		
⑤ 大田2支線15-2-1号	西田町 高柴	1,428㎡	0㎡ (0%)		

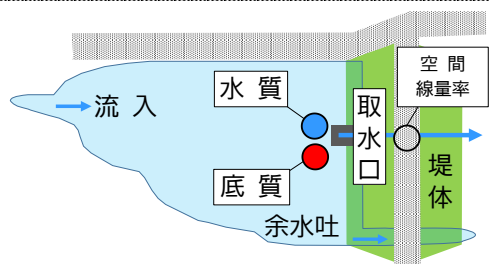
詳細調査(2023年度)の方法

底質(池底土壌)を面的・深度ごとに調査: 5か所



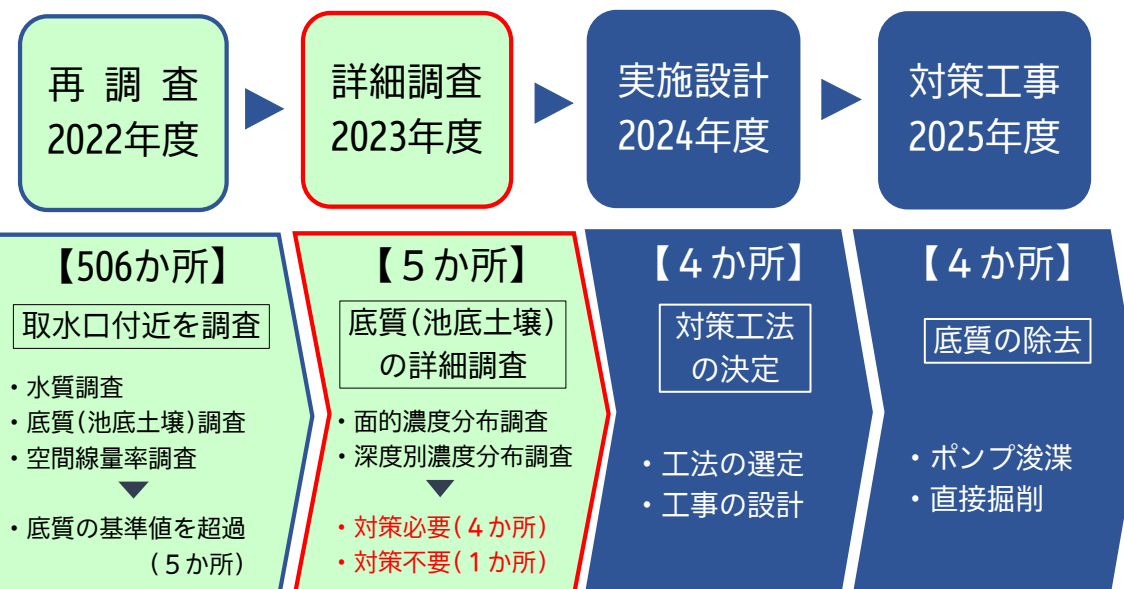
参 考: 再調査(2022年度)の方法

取水口付近の水質・底質(池底土壌)・空間線量率を調査: 506か所



事業スケジュール

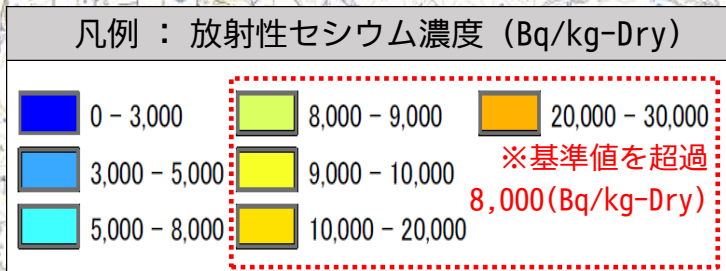
詳細調査の結果、4か所のため池で対策の必要性が確認されたため、各ため池の汚染状況等に応じた、効果的・効率的な対策工法を決定し対策工事を実施する。



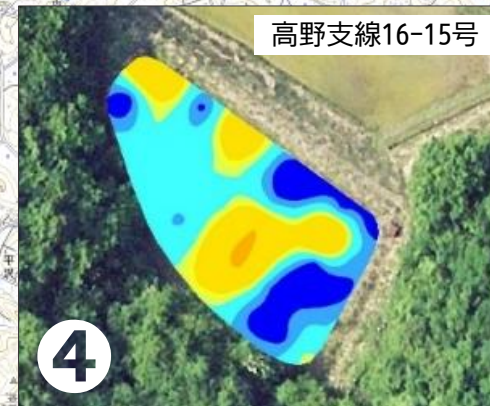
詳細調査(2023年度)位置図



大田2支線17-3-4号



高野支線16-2号



高野支線16-15号



大田2支線17-3-9号



大田2支線15-2-1号

2

4

5

2

1

3

4

5

(対策不要)

(対策不要)

詳細調査(2023年度)の結果						
【放射性セシウム濃度 (基準値:8,000Bq/kg-Dry以下)】						
ため池名	場所	調査面積	基準値超過面積	最大値 (Bq/kg-Dry)	対策の必要性	
① 大田2支線17-3-4号	西田町 鬼生田	1,246㎡	229㎡ (18%)	8,000	< 16,290	あり
② 大田2支線17-3-9号		939㎡	735㎡ (78%)		< 15,300	
③ 高野支線16-2号	西田町 丹伊田	513㎡	28㎡ (5%)		< 12,270	
④ 高野支線16-15号		908㎡	312㎡ (34%)		< 21,500	
⑤ 大田2支線15-2-1号	西田町 高柴	1,428㎡	0㎡ (0%)		> 4,920	